

ぬまた 市議会だより

第56号

12月定例会

令和2年
2月1日

子ども議会



みんなの"声"が
沼田をつくる

沼高生意見交換会



主な内容

- ・P2～3 沼高生意見交換会
- ・P4～5 12月定例会ほか
- ・P6～11 一般質問
- ・P12 行政調査報告

沼高生 × 市議会

沼高生と沼田の活性化を話し合い

沼田の活性化に多くの意見

11月13日、沼田高校生と市議会議員の意見交換を行いました。高校生に、政治が生活と直結していることを知ってもらったり、政治や選挙に関心を持ってもらったりするため、昨年度から実施しています。

今回は、テラス沼田で、2年生156人と沼田市の活性化を

テーマに意見交換。沼高生から、様々な意見や提案、質問が寄せられ、沼田市の明るい未来に真剣に向き合った時間となりました。

9割以上が政治に関心

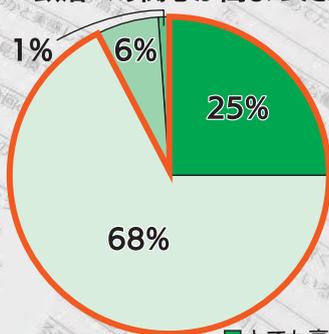
終了後のアンケートでは、9割以上の生徒が政治への関心が高まったと答えてくれるなど将来への期待が高まります。

《意見交換会を終えて》

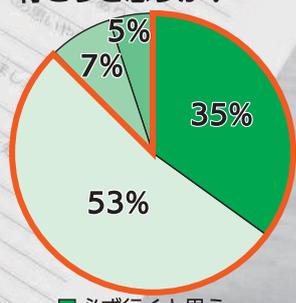
■沼高生の感想

- ・自分たちが政治を変える力のある一人の主権者だということを実感できた。
- ・こちらが意見を投げかけても、実現できない理由を言われることが多く、解決に至る話し合いになっていないと思った。
- ・自分が沼田の課題だと思っていたことが、すでに議会で話題になっていたことに驚いた。
- ・市を少しでも良くする提案ができたので、実現できるなら具体的に策を練りたい。
- ・「何かをしてもらおう」と期待するのではなく、自分で考え活動しなければ地域を良くすることはできないと思った。
- ・自分たちの意見を聞いてもらったので、これからの沼田に期待していきたい。

・政治への関心が高まったか？



・18歳になったら選挙に行こうと思うか？



■市議会の感想

- ・具体的な提案や質問に、議員も勉強しなければならないことが多々あることを実感した。
- ・議員にとっても、良い緊張感を持った勉強の時間になった。
- ・他の高校の生徒とも意見交換をした方が良い。
- ・意見交換だけで終わらせずに、高校生の意見から変わったことなどを伝えていきたい。
- ・発想が豊か。市長や議会への政策提言をまとめてはどうか。

みんなの"声"が 沼田をつくる





沼田の未来を真剣に話し合い

沼高生の“声” (一部抜粋)

◎通学

- ・電車が1時間に1本しかない。増やしてほしい。
- ・駅前で電車の待ち時間に使える施設がほしい。
- ・沼田駅からの無料バスがほしい。
- ・バスの本数が少ない。一本逃すと次は遅刻になってしまふ。
- ・滝坂、寺久保坂など通学路に街灯を増設してほしい。
- ・歩道のない道が多く危険。
- ・バス停に若い人が集まる場所があるとよい。

◎テラス沼田

- ・テラス沼田に高校生が自由に勉強できるスペースがほしい。
- ・スマホを使っている人が多い。フリーWi-Fiを増やしてほしい。
- ・テラス沼田にマクドナルドやスタバなど、若い人が気軽に寄れる場所を。
- ・テラス沼田周辺に、外から来た人や高校生がお金を落とす店や施設がないが、どう考えているか？

◎観光

- ・歴史と伝統を活かしたまちづくりを。
- ・観光地として考えるとゴミのにおいが気になる。

◎まちづくり (市の活性化)

- ・市の活性化のために議会は何をやっているのか？
- ・街なかや自分の住んでいる地域が衰退していくのが心配。
- ・どうすれば沼田に人が集まるか？
- ・沼田まつりや花火大会など、外から人を呼ぶ発信(SNSの活用)に中学生・高校生のアイデアを活用しては。

高校生の“声”に議会としてどう応えるか？

高校生らしい意見に刺激

電車やバス、通学路など高校生特有の課題から、観光・まちづくりの課題まで、幅広い意見が出され、参加した議員も、高校生の色々な意見に刺激を受けました。

“声”を活かす議会に

この高校生一人ひとりの“声”に、議会としてどう応えていくのか。まちづくりにどう活かす

ていくのか。沼田市議会の実行力が問われます。意見交換会の後、いくつかの意見は既に取り上げていますが、議会としての「政策提案能力」「課題解決能力」の向上が必要です。

今後、意見交換の対象を拡大し、これからの沼田をつくっていく「一人ひとりの声」を積極的に聴く機会を増やしていきたいと思えます。

12月定例会

12月定例会は、12月10日に開会し、12月20日までの11日間、市当局からの報告、補正予算、条例の改正、工事請負契約の変更など計20件と議会からの請願1件を審議しました。

また、一般質問は10人の議員が行い、市当局と活発な議論を展開しました。

新名称は

「利南運動公園」に決定

来春の供用開始に向けて整備を進めている「(仮称)利南運動広場」が、新たな名称「**利南運動公園**」として都市公園になります。これに伴い、公園内に有料施設として整備する野球場及びテニスコートの利用時間、使用料等を決める条例改正を行いました。



利南運動公園完成予想図

利南運動公園

関連工事2件を契約変更

現在施工中の利南運動公園関連工事2件を次のとおり契約変更しました。

◎建築工事

当初 11億4,912万円

変更 11億6,039万5千円

◎土木工事

当初 4億7,520万円

変更 4億8,205万3千円

市立幼稚園

5園から2園へ統合に

令和2年4月1日に、市立幼稚園5園が2園へ統合されます。このため、沼田市立学校設置条例の一部を改正しました。



補正予算などを議決

国県支出金の確定などにより増減を生じるもの、緊急に措置しなければならぬものなどの補正予算について審議しました。

人件費以外の主な内容は、旧庁舎解体実施設計業務委託の計上、鳥獣被害対策事業費補助金の追加、野生動物侵入防止柵設置事業費補助金の追加、道路除雪事業費の追加、沼田東小学校屋内運動場改修事業の実施設計経費の計上などです。

また、人事院勧告で、月例給及び期末勤勉手当の引き上げの見直し勧告がされ、本市職員の給与についても国に準じ、所要の改定を行いました。また、これに合わせ、市議会議員、市特別職の期末手当についても改定しました。

条例に反対 (一部抜粋)

なぜ、一般職の職員の給与と改定に準じて、特別職の市長、副市長、議員の期末手当を改定しなければならぬのでしょうか。

「決断と実行」で、自ら身を切る改革を断行すべきではないでしょうか。

常任委員会

私立園長会、シルバー人材センターと懇談

民生福祉常任委員会は、10月11日に私立保育園・子ども園園長と、11月12日に公益社団法人シルバー人材センター役員と懇談を行いました。

園長会との懇談会では、幼児教育の無償化を巡る課題や深刻な保育士不足、多様な保育需要について意見交換をしました。

シルバー人材センターとの懇談会では、高齢化社会を担うシルバー人材センターの現状や課題について意見交換をしました。今後も、市民の皆さんの声を積極的に聴いていきます。



シルバー人材センター役員と懇談

子ども議会で小中学生、高校生が堂々と質問

市内小中学生と利根沼田の高校生代表による「子ども議会」が11月2日、テラス沼田議場で開催されました。

子ども議会は、次代を担う子どもたちの夢や豊かな感性を市の発展に反映させること、行政やまちづくりへの関心を高めてもらうことを目的に毎年行われており、今年で18年目。

この日は、小学生10人、中学生8人、高校生5人が、自分たちで考えた質問や政策提言を堂々と行いました。

子ども議員は、コミステーションの問題や少子化による部活動



自分の意見を堂々と主張

の問題、交通事故対策などの様々な課題について質問。市長、教育長の答弁を真剣に聞いていました。

また、テラス沼田周辺の活性化のため「赤ちゃんからお年寄りまでみんなが楽しめたり、みんなのために役に立ったりする空間をつくってはどうか」、森林整備や保護のため「小中学生のうちから、ポイ捨ての現状を見たリ、森林の整備をみんなでする授業を取り入れてはどうか」といった政策提言もありました。



新しい議場で記念撮影

議会改革特別委員会

議会改革先進地

桐生市を視察

11月18日、桐生市の視察を行いました。桐生市は早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査」市ランキング全国4位の議会改革先進地です。

桐生市では、議会報告会、意見交換会、まちづくり討論会、議会モニターなど、市民の意見を反映するための活動を積極的に行っています。

桐生市議会の取り組みを参考に、沼田市議会でも市民のための積極的な議会改革に取り組みます。



桐生市議会を視察

議員の寄附は禁止!

議員が、選挙区内の人にお金や物を贈ったり、年賀状など（答礼のための自筆によるものは除く）を出したりすることは法律により禁止されています。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

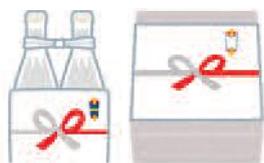
議員の寄附禁止の対象例

落成式・開店祝や
葬儀の花輪・供花など



お祭りなどの差し入れ、
町内会への寸志など

お年賀・お中元・お歳暮
入学・卒業祝いなど



議員本人が出席しないときの
結婚祝や葬儀の香典など



市政を問う！

一般質問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを問うのが「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。ここでは、各議員が自ら編集したダイジェスト版で質問内容をお伝えします。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

桑原 敏彦	沼田市はSDGsをどのように進めるのか
中村 浩二	相互に支え合うまちづくりの推進
高柳 勝巳	保健福祉センターと水道施設の今後のあり方
高山 敏也	企業誘致、ひとり親家庭支援
三ツ石 岩男	シルバー人材センターの活用、ひとり親支援
井上 弘	森林文化都市の実現、学習環境の充実を
星野 妙子	高齢ドライバー安全運転装置の購入補助を
金子 浩隆	変わる自然災害から市民の命を守る
大東 宣之	防災対策、健康づくり、安全確保
井之川 博幸	土岐活かす観光施策を・小規模条例制定を

スマホから議会を見よう！
議会インターネット中継
 文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀議会中継
 会議名や議員名を選んで視聴できます。

沼田市はSDGsをどのように進めるのか

桑原 敏彦



Q まち・ひと・しごと創生総合戦略、都市計画マスタープラン、森林文化都市宣言を一体的に考え、持続可能な開発目標SDGsの政策に連動させることは、市民や企業にとって重要で、沼田市の活性化につながるチャンスだと確信しています。市民一人丸となって10年後の沼田市のなりたい姿を、このSDGsで考え実行するべきです。

進について伺います。

A SDGsは、持続可能な開発のための17の目標と169のターゲット（具体目標）で構成されており、貧困や飢餓、健康や教育のほか、エネルギーや気候変動、まちづくりなど、現在の世界が抱える課題が包括的に掲げられています。

A 沼田市市民協働推進基本方針の推進とSDGsの達成がリンクするよう、周知と意識啓発、その推進に向けた支援体制を強化しています。

市民協働を進める上で、企業などを含む全ての市民がパートナーシップを組み、SDGsの視点を加えて事業を実施していくことは、大変重要ですので、引き続き、推進していきたいと考えています。

※その他の質問
 ・SDGs実現に向けた企業連携・産官学連携・ぬまた起業塾との連携など

この具体的施策の中には、本市が進めている取り組みも多く、地域活性化に向けて、研究していきたいと考えています。

Q 市民協働によるSDGsの推



持続可能な開発目標 (SDGs)

市政を問う!!

相互に支え合うまちづくりの推進

中村 浩二



Q地域における福祉意識の醸成、担い手づくりの取り組み状況と推進について伺います。

A福祉意識の醸成の取り組みについては、広報ぬまたや市ホームページでの啓発、各種研修・講演会、小中学校での福祉体験学習を進めることで、福祉意識を高め、福祉活動への市民参加を促進しています。また、担い手づくりの取り組みについては、認知症サポーターなど、地域を支える各種ボランティアを養成し、市民が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めています。

Qテラス沼田移転後の中心市街地の活性化について伺います。

Aテラス沼田の「まちづくりの拠点」としての機能と、にぎわいの核、旧土岐邸洋館などの歴史的建築物の活用を推進し、中心市街地の活性化を図りたいと考えています。

Q空家等の対策と利活用について伺います。

A沼田市空家等対策計画に基づ



移築中の旧土岐邸洋館

き、所有者等へ管理の啓発、解体補助金交付等を行っており、利活用希望者には沼田市と協定を結ぶ不動産関係の協会と連携を図りながら対応しています。

Q森林文化都市宣言に基づく森林業・経済活性化策の推進について伺います。

A持続経営可能な森林の保全整備のため、安定した素材生産体制の整備・強化が図られるよう地元産材の需要拡大及び森林施策の効率化など、国や県とともに林業振興に取り組みたいと考えています。

※その他の質問
・都市間交流や移住・二地域居住の促進及び森林整備保全など

保健福祉センターと水道施設の今後のあり方

高柳 勝巳



Q13年で見直すと言われていた指定管理による保健福祉センターの管理運営方法や運営主体の検討状況について伺います。

A包括的管理に移行する計画であり、運営主体については現在検討中です。

Qコミュニティセンター化構想等との整合性を伺います。

A将来の沼田市を見据えた総合的な視点で公共施設の最適化に向けた取り組みを進めており、保健福祉センターも、複合化や多機能化などにより、施設の更なる有効利用を目的としたファシリティマネジメント手法の検討対象の一つとなっています。

具体的には、老朽化が著しい中央公民館の代替機能を担う施設の候補の一つとして、現在コミュニティ機能を持つテラス沼田、白沢支所、利根沼田文化会館などとともに検討をしているところです。

Q老朽化が著しい水道施設について、浄水場を現在より高位置

に移転新設させるなど、抜本的な整備の検討状況を伺います。

A移転新設、施設の更新等による長寿命化と手法はありますが、いずれにしても莫大な費用を要し、また、料金にも影響してくることですので、令和2年度より計画している「水道ビジョン」の策定の取り組みの中で、より良い手法を検討していく考えです。



市保健福祉センター

◎ファシリティマネジメントとは：企業・団体等が組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動

一般質問

企業誘致、ひとり親家庭支援

高山 敏也



Q企業誘致「横塚・生品工業団地」に関する、現状、今後の方針などを伺います。

A昨年度、市道横塚中央線の道路拡幅工事が完了し、現在の立地企業が9社、約17haが未売却です。工業専用地域ですが、工業団地として整備しておらず、オーダーメイド方式です。当市企業誘致の最重要地域であると認識しています。「横塚生品農工地区整備促進協議会」が設置されていますが、所有者と市との協定等は行っておりません。今後も、当地区を含む企業誘致に努めたいと考えています。

Qひとり親家庭の現状に対する見解や支援体制、離婚前後における相談・支援体制を伺います。

Aひとり親家庭の貧困率は高く、家庭の事情や環境により子どもの将来が閉ざされてはならないと考えます。「児童扶養手当」「ひとり親家庭医療費助成」等を実施しています。家庭児童相談室で離婚等総合的な相談に対

応し、法テラスなどの情報提供も行っています。

Q明石市の養育費立替パイロット事業、こども総合支援条例、実施検討中の不履行者の財産差押等について見解を伺います。

A明石市養育費立替パイロット事業は、ひとり親家庭に対して非常に先進的な取り組みであり注視を、こども総合支援条例については先進事例として研究を、不履行者の財産差押等についても、先進事例として注視したいと考えています。

Qひとり親家庭に対する今後の支援について伺います。

A養育費の確保等の取り決めについては、国等の相談窓口を紹介しています。通学バス代の援助については、今後の調査・研究としたいと考えています。



明石市ひとり親家庭サポートパンフレット

シルバー人材センターの活用、ひとり親支援

三ツ石 岩男



Q豊富な経験と知識をもった方々にシルバー人材センターで働いてもらう環境づくりについて伺います。

Aシルバー人材センターは、就職することは望まないが、「自らの能力や経験を活かしたい」「社会に役立つ仕事をしたい」など、働く意欲を持つ高齢者が会員となり、民間事業所や家庭、公共団体等から日常生活に密着した業務を受注し、会員の希望や能力に応じて提供しています。高齢者の「健康維持」「社会参加」「福祉の増進」などを目的としており、安心・安全に働くことを通じて、生きがいの充実が図れるよう環境づくりに努めています。

Qひとり親家庭に対する支援として、沼田に住みたくなる施策について伺います。

A本市のひとり親家庭への支援制度としては、子どもが18歳到達年度末まで支給される児童扶養手当、同じく18歳到達年度末

までの医療費の助成を行うひとり親家庭医療費助成、就労するための資格取得等を支援する高専職業訓練促進給付金等事業、自立支援教育訓練給付金事業等を行っています。

また、ひとり親家庭限定の事業ではありませんが、民間の取り組みとして、子どもの居場所を提供する「子ども食堂」の立ち上げなど、地域の方々による温かな支援も行われています。



市政を問う!!

森林文化都市の実現、学習環境の充実を

井上 弘



Q森林文化都市を実現するために、沼田市の目指す森林文化都市としての姿はどのようなものか伺います。

A森林が貴重な本市の地域資源であることを認識した上で、先人たちの培ってきた生活から生まれる文化や訪れる人々とのふれあいから生ずる文化と森林から創造される地域特性のあるまちとして、住む人にとっても訪れる人にとっても居心地のよいまちであると考えています。

Q子供たちが使える市内の自主学習スペースの状況はどうなっているか教育長に伺います。

A中央公民館2階学習室や市立図書館4階読書室、また、テラス沼田のロビーや会議室の一部を自主学習スペースとして活用しています。

Q子供たちが自由に学習できる場所を増やすことについてどうお考えか教育長に伺います。

A子供たちを含め、市民のニーズに応じて、安心・安全で自由

に学習できる環境などが必要であると考えます。今後は、利用の様子を見た上で、必要に応じて研究したいと考えています。

Q子供の読書を推進するための取り組みはどうなっているか教育長に伺います。

A沼田市読書活動推進計画に基づき、「家族で本を読みましょ」運動や、市長部局と連携したブックスタート事業などを実施しています。各小中学校では、授業前に朝読書の時間を設けたり、図書委員会等が中心となって読書を啓発したりするなど様々な工夫をして、読書推進を図っています。また、地域の方や保護者による読み聞かせや、図書だよりの発行など、家庭や地域とも連携を図っています。



高齢ドライバー安全運転装置の購入補助を

星野 妙子



Q高齢ドライバーによる交通事故が社会問題となっており、国は安全運転支援策としてブレーキとアクセルの踏み間違いを防止する後付け装置購入を補助対象とします。沼田市の積極的な対応と市民への周知について伺います。

Aブレーキとアクセルの踏み間違いが原因となる交通事故が全国的に発生しており、県内市町村でも後付け装置設置費用の補助が行われています。国においても65歳以上の高齢者による安全運転サポート車購入補助支援が決定されました。ご指摘の補助制度導入については詳細がわかり次第、周知に努めます。

Q台風19号による災害対策本部設置、自主避難所開設などの災害対応と防災機能の検証及び市民への災害情報はどのように発信され、今後どのように活かすのか伺います。

A10月12日に沼田市災害警戒本部を設置、午後1時に市内7カ

所に自主避難所を開設。また、利根川の氾濫と土砂災害の恐れがあり、避難勧告発令及び指定避難所6カ所を開設し対応しました。災害対応について情報発信と伝達方法について検証を行っています。幸いにも大きな被害がなく防災機能の検証は行っていません。

Q常温保存可能でそのまま飲める乳幼児用液体ミルクを災害時の備蓄品として、本市へ導入することにについて、検討の進捗状況を伺います。

A液体ミルクの試供品を保育園に通園する園児に試飲していただき、抵抗なく飲めるとの意見でした。県内他市でもすでに導入されており、液体ミルクの導入について更に検討します。



乳幼児用液体ミルク

一般質問

変わる自然災害から市民の命を守る

金子 浩隆



Q10月12日、台風19号の大雨で利根川が氾濫危険水位を超え、午後9時20分、警戒レベル4の避難勧告が発令されました。

避難勧告が発令された薄根町、西中学校近くにお住まいの方が、FM防災ラジオの警報に驚きつつも、具合が悪く寝ていらつしやうた奥さんを急かして、近くの県利根沼田振興局に避難に向かったそうです。避難は受け付けていないと入館を断られたそうです。

9月議会、「県の振興局との協議、再三させていただきましたが、県は貸してはいただけないということだめになりました」ということで、ただいま国交省の施設との検討を一生懸命重ねておる次第であります」と市長答弁がありました。一体全体、振興局を避難所としては使用させないと言っているのは利根沼田振興局長ですか、山本一太知事ですか。避難勧告が出された薄根町の指定避難所は下町住民センター

防災対策、健康づくり、安全確保

大東 宣之



Q台風19号への対応はどのようにされ、成果と課題についてどのように検討されたのか伺います。

A10日から防災関係機関と連携し、情報収集を開始し、12日午前9時に沼田市災害警戒本部を設置、午後1時には市内7箇所自主避難所を開設。また、利根川の氾濫や土砂災害の恐れがあることから、避難勧告発令及び指定避難所6箇所を開設し、対応を図りました。

Q台風・豪雨災害における避難についてどのように検討され対応されているのか伺います。

A前橋地方気象台などの防災関係機関からの防災情報を精査し、その地域や規模により指定緊急避難場所及び指定避難所の設置箇所を検討し、「緊急告知FMラジオ」等、多様な情報伝達手段を活用して周知し、避難対応を行っています。

Qフレイル予防にどのように取り組み、高齢者の健康づくりを

すすめるのか伺います。

Aフレイルは、栄養摂取や運動をすることで健康な状態を取り戻すことができるといわれ、ウォーキングなどを取り入れた健康づくりに取り組んでいたという、普及啓発をしていきたいと考えています。

Q生徒に対し登下校時の注意喚起はどのように行われているのか教育長に伺います。

A定期的な安全点検、安全マップの作成と活用、地域やPTAとの連携について学校に指示し、生徒には、体育科や特別活動を中心に危険な状況が発生した場合には、必要な指導を重点的に行っていきます。



台風19号で増水した利根川



台風19号で増水した片品川

市政を問う!!

土岐活かす観光施策を・小規模条例制定を

井之川 博幸



Q 来年の大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀と関係が深い「土岐氏」に関する観光施策について伺います。

A 本市来訪に有効な手段であり、歴史資料館の特別展や旧土岐邸洋館などを積極的に発信し、観光客誘致に繋がりたいと考えます。
Q 来年の「大河」放映中の歴史資料館の取り組みについて教育長に伺います。

A 明智光秀と土岐氏の特別展は来年2月18日まで開催し、それ以降は、来館者の反応や状況を把握し検討したいと考えます。
Q 小規模企業振興基本条例の制定及び県内状況を伺います。

A 制定に向け準備を進めており、県内18自治体が制定しています。
Q 地域経済の振興及び地域経済を活用した地域おこしを目的とした民間組織について伺います。

A 地域経済循環を進めるにあたり、地域産業が活性化し、地域内での消費活動の活発化が重要であり、先進事例を参考に研究

したいと考えます。

Q 公契約条例制定について伺います。

A 国・県や他市町村の動向を注視したいと考えています。

Q 市民体育館の管理・運営業務について教育長に伺います。

A 平日昼間は、市体育協会に、夜間・休日は、シルバー人材センターに委託しています。

Q 新学校給食センター及び利南運動公園での、地域住民や地元事業者の活用について教育長に伺います。

A 新学校給食センターの施設維持管理は包括管理業務委託で、運営は調理及び配送業務委託で考えています。利南運動公園は、業務委託で地元事業者への委託等を含め検討したいと考えます。



上之町にぎわいの核へ移築中の土岐邸洋館

令和元年第6回12月定例会賛否状況

種別	番号	議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
				星野 妙子	金子 隆	高柳 勝巳	三ツ石 岩男	山宮 敏夫	茂木 清七	永井 敏博	桑原 敏彦	中村 浩二	井上 弘	大東 宣之	井之川 博幸	野村 洋一(議長)	島田 康弘	大島 崇行	高山 敏也	戸部 健博	久保 健二	星野 稔	星野 佐善太
報告	第15号	専決処分報告について(令和元年度沼田市一般会計補正予算(第5号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	第90号	新市建設計画の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第91号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第92号	(仮称)利南運動広場整備(建築)工事請負契約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第93号	(仮称)利南運動広場整備(土木)工事請負契約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第94号	沼田市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第95号	沼田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第96号	沼田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第97号	沼田市都市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第98号	沼田市立学校設置条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第99号	沼田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第100号	沼田市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第101号	沼田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第102号	令和元年度沼田市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第103号	令和元年度沼田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第104号	令和元年度沼田市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第105号	令和元年度沼田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第106号	令和元年度沼田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第107号	令和元年度沼田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第108号	令和元年度沼田市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

■各記号の見方 ○…賛成の者、×…賛成でない者、—…欠席または退席

行政調査

報告

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。
今回は、昨年度の経済建設常任委員会の概要を掲載します。

経済建設常任委員会

平成30年10月22日～24日、京都府南丹市、三重県伊賀市、静岡県三島市において、包括的な定住促進施策、ICTを採り入れた野猿対策、住民とのコンセンサスを重視した景観形成とまちづくり等の施策をテーマに行き政調査を行いました。



南丹市の定住対策を視察

南丹市では、人口減少が進行するなか、取り組んでいる**定住促進施策**として、「にぎわい創出定住地域」「にぎわい再生定住地域」「ふるさと定住地域」に区分し、空き家掘り起こし事業、空き家掃除お助け事業、Uターン者住宅購入・新築支援商品券交付制度、その他に子育て世帯支援や起業支援など、定住や移住を支援する施策が充実しているのが特徴で、市の熱意を感じました。

伊賀市では、**ICTを採り入れた野猿対策**について調査しました。猿は集団で迅速に追い払えば集落への出没は減少していくとのこと、本市においても、各集落の協力等でそうした追い払いを行う組織を設置することも検討課題であり、研究していかねければならないと感じました。

また、捕獲にはICTを活用

した遠隔捕獲装置を使用しており、これについても、検討する必要があると考えます。

三島市では、**景観形成とまちづくり**を調査し、中心市街地にある歴史、文化、水辺や緑の自然環境を活用した魅力ある地域づくり事業を調査しました。市民、企業、行政がパートナーとなり、一体となって街の活性化事業につなげていく協働事業であり、本市でもこうした取り組みの検討が必要と考えます。



三島市の景観形成を視察

次回定例会の日程

次回定例会は、2月27日（木）からの予定です。
ぜひ傍聴にお越しくください。

編集後記

温暖化の影響か、暖かい新年となりました。今年が皆様にとって良い年となるよう、心よりご祈念申し上げます。

昨年は、平成から令和に元号が変わり新時代の幕開けとなりました。令和の典拠は、万葉集の「初春の令月にして気淑く風和ぎ梅は鏡前の粉を披き蘭は珮後の香を薫す」で、「美しい調和」という意味が込められています。

本市では調和のとれた建造物となったテラス沼田への庁舎移転が行われ、市民体育館の改修や新給食センターの建設など多くのハード事業が行われた年でした。

オリンピックイヤーとなる今年は、4月1日には聖火リレーが本市を通過し、また、ホストタウンとしてドイツのフエンシングチームや外国人観光客など多くの人を迎え、新たな交流と調和が生まれることを期待しています。

編集委員 永井 敏博

議会だより編集委員会

委員長 井上 弘
副委員長 星野 妙子

委員 高柳 勝巳 永井 敏博 高山 敏也
山宮 敏夫 大東 宣之 戸部 博